

# ごあいさつ

早稲田大学産業経営研究所 所長 中村信男

早稲田大学産業経営研究所は、早稲田大学における産業経営の中心的な研究機関として1974年に設立され、以降今日に至るまで、企業や産業に関する幅広い領域の諸問題について精力的に研究を展開してまいりました。

このたび第40回を数える「産研フォーラム」では、広く社会の様々な方々を対象として、その時々の先端的な問題をテーマに講演会、シンポジウム等を開催し、ご好評をいただきました。今回も、当大学商学院学術院の鵜飼信一教授をコーディネーターとして、「ベンチャーアイノベーションの創出」というテーマでフォーラムを開催することになりました。

国内雇用創出の担い手、多様化する消費者ニーズに対する製品・サービスの提供者、そしてイノベーション創出の主体としてなど、ベンチャー企業に期待される役回りの重要性は高まり続けています。ベンチャー企業の起業と成長を支援するため、経済産業省を中心として国も、税制・融資制度の整備や起業家教育の推進など様々な取り組みを実施してきました。こうした状況下において、さらに多くの優秀なベンチャー起業家を輩出するため、教育機関としての大学にはどのような取り組みが求められているでしょうか。

新規性を求められるベンチャー企業は、イノベーションを生み出すことで競争優位を獲得しています。「起業家を輩出する教育」の学生への提供は、「ベンチャー起業家の輩出」ひいては「イノベーションの創出」に貢献すると考えられます。今回のフォーラムでは、日本におけるベンチャー企業およびイノベーションの現状とその関係性について俯瞰したうえで、これから日本の経済を牽引する存在となるべきベンチャー起業家を輩出する「大学教育の在り方」について、産官学の多様な視点から議論を展開します。そしてその議論から、「イノベーションを創出するための教育とは」という問い合わせに対する仮説を抽出します。

皆様方のご来聴を、所員一同、心よりお待ち申し上げております。

# 略歴

たきうち ただし

石井 芳明

いしい よしあき

愛媛県生まれ。早稲田大学博士課程修了。  
学術博士(国際経営専攻)。1986年野村證券株式会社入社。野村證券では財務情報部や事業開発部を歴任。国内P-E投資やアジア地域のP-E投資、米国不動産投資(P-E-I)を手掛ける。1997年

ワンドマイク投資顧問事務取締役に就任し、ベンチャーキャピタルへの投資、海外におけるヘッジ・ファンドの設立と運営に従事。2002年アクセル・インベストメント代表取締役に就任し、主に金融機関へのコ

ンサルティングを行つ。2005年ウエルインベストメント代表取締役社長に就任(現就任)し、ベンチャーキャピタル・ファンドの運営を行つて。2007年エンド・アセット・マネジメントの取締役に就任(現就任)し、ベンチャーキャピタルの視点からファンド・マネジメントの起業を手掛け。本格的にアセット・マネジメントに参入。また、2012年から文部科学省STARTプロジェクト代表プロジェクトマネージャーとして、大学が所有する技術事業化に取り組んでいた。早稲田大学アントレプレナーリ研究会理事。日本ベンチャーキャピタル協会理事。文部科学省大学発新産業創出拠点プロジェクト(START)代表プロジェクトマネージャー。早稲田大学商学研究科非常勤講師。

1987年岡山大学法学部卒業。1996年カリオフォルニア大学バークレー校留学(公共政策単位履修生)。2000年青年学者(公私合意)。1997年同省工業技術院国際研究協力課。2000年同省中小企業庁経営支援課。2003年同省経済産業政策局産業組織課。2006年独立行政法人中小企業基盤整備機構資金支援課。2007年同ファンド企画課。2012年同省経済産業省地域経済産業グループ地域経済産業政策課。2012年同省経済産業政策局新規産業室(現在に至る)。

1987年岡山大学法学部卒業。1996年カリオフォルニア大学バークレー校留学(公共政策単位履修生)。2000年青年学者(公私合意)。2000年同省工業技術院国際研究協力課。2000年同省中小企業庁経営支援課。2003年同省経済産業政策局産業組織課。2006年独立行政法人中小企業基盤整備機構資金支援課。2007年同ファンド企画課。2012年同省経済産業省地域経済産業グループ地域経済産業政策課。2012年同省経済産業政策局新規産業室(現在に至る)。

お問い合わせ先 産業経営研究所 TEL03-3203-9857  
URL <http://www.waseda.jp/sanken/> E-mail [riba@list.waseda.jp](mailto:riba@list.waseda.jp)